



〈共生型新産業創出コロキウム〉講座 第1期成果発表

バイオものづくりで 次世代産業をひらく

2026.2.17 TUE
15:00-18:00

東京大学 弥生キャンパス
農学部1号館 第8講義室

気候変動や生物多様性の喪失をはじめとする地球規模課題を背景に、プラネタリーヘルスの実現は現代社会における重要な命題となっています。環境調和的かつ持続可能であることに加え、人間のwell-beingをいかに実現するか——産業のあり方そのものが、いま問い合わせられています。

こうした文脈の中で注目を集めているのが、生物の特性や機能を活かした「バイオものづくり」です。

本シンポジウムでは、微細藻類をはじめとする生物の力の活用が、環境・エネルギー・材料・食料といった分野にどのような可能性をもたらすのか、そしてサイエンスと産業をいかにつなげていきうるのか、産官学の視点を交え考えます。また、東京大学で2024-2025年度に実施された講座〈共生型新産業創出コロキウム〉第1期の締めくくりとして、受講者による実践的な報告を通じ、共生型新産業創出に向けた新たな視座と協創の可能性を探ります。

参加費無料、どなたでもご参加いただけます！

要事前登録



- 15:00-15:15 オープニング
- 15:20-16:00 基調講演 | NEDOにおけるバイオものづくり関連事業について
矢追 克郎 氏 / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
バイオ・材料部 バイオプロセスユニット 参事
- 16:00-16:45 講演1 | 事業化・産業化とは
藤田 朋宏 氏 / ちとせグループ Founder & Chief Executive Officer
- 16:45-16:55 講演2 | 微細藻類による有価物生産 - 多様性は多用性? -
岡田 茂 / 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
- 16:55-17:35 「共生型新産業創出コロキウム」第1期受講者からの報告
講座受講者 (社会人・学生)
- 17:35-17:50 講演3 | イノベーションに繋がる「場」としてのコロキウムへの期待
箕 一彦 氏 / 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 (東大IPC)
協創推進部 部長・パートナー
- 17:50-18:00 クロージング
東原 和成 / 東京大学 大学院農学生命科学研究科長

